

くらしの知恵袋

虫よけ剤の上手な使い方

パークゴルフやゲートボール、山菜採り、キャンプなどで虫に刺されるのを防ぐため、虫よけ剤の出番が多くなる季節になりました。店頭では、エアゾールタイプ、ポンプタイプ、ティッシュタイプ、液体タイプなど、さまざまな商品を見かけますが、どれを使うか迷う方もいるようです。

虫よけ剤の大部分には、『ディート』（ジエチルトルアミド）と呼ばれる化学物質が含まれています。ディートは、一般的に毒性が低いとされていますが、まれに体への影響があるといわれています。虫よけ剤は、次のことに注意して使用しましょう。

必要な場合に限り使用を

特に乳幼児は、虫よけ剤を習慣的に使用するのではなく、必要な場合に限り使用しましょう。

エアゾールタイプの虫よけ剤の使用には工夫を

エアゾールタイプの虫よけ剤は、周辺への飛び散りやすさや粒子の細かさから、付着効率が悪く、吸入することが考えられます。手に



取ってから塗るなどの工夫をしましょう。また、塗るタイプは、付着効率がよく、吸入の少ないことがわかっていきます。

手や顔への使用は控え、肌の露出部には虫よけ剤以外の工夫をより安全に使用するため、手や顔への使用を控え、長袖、長ズボンの着用などで肌の露出部を少なくするなどの工夫をしましょう。

医薬部外品でもディート濃度が低いとは限らない

表示には、『医薬品』と『医薬部外品』がありますが、医薬部外品のディート濃度は、商品により差があります。医薬部外品だからディート濃度が低くて安心と思わず、医薬品と同じく、使用量や使用方法などに注意しましょう。

問い合わせ 市民サービスグループ（☎851855）

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group



子育てサークル『ピーターパン』

子育てサークル『ピーターパン』は、核家族化や少子化が進む中、子どもと親の仲間づくりを目的に結成されました。

現在会員は、1歳から4歳までの子どもを持つ幌別地区から美園地区までの17家族で、毎月第1から第3までの金曜日、10時から12時まで美園児童センターを中心に活動しています。

活動日には、子育て支援センターの職員や元保育士の鈴木テツ子さんが指導に訪れ、子どもの遊びや親の相談に乗っています。

会員の中には、みんなの会話から、子育ての秘けつを学んだり、子どもたちは雨の日でも広い美園児童センターで友だちと仲良く遊んだりしているんですよ。親としても家庭でできない遊びができるので安心して子育てができます。

子育てはみんなで助け合
って行うものだと知りました



子育てはみんなで助け合って行うものなんです」と話すのは代表の高橋明子さん。

札幌市から引越してきた合田梨香さんは、『子どもとの散歩中に何気なく入った児童センターで、活動していたピーターパンを知り、会員になりました。おかげで、子どもの遊び友だちが増えました。ピーターパンは、親も子どもとつても仲がよく、サークル活動を通じて家族同士でお付き合いしている方もいるんですよ。』とまだ小さな子どもにも目を配りながら話してくれました。

今年度は、7月に室蘭水族館への遠足や8月のミニ運動会、そのほかクリスマス会や豆まきの行事が予定されています。

入会を希望される方は、高橋さん（☎880112）までどうぞ。